

コード	403040405
記入日	H25.6.7

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	松竹 昭典

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域イベント活性化補助事業
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40304	基本事業名称	観光商業の振興	目コード	2
事務事業コード	4030404	事務事業名称	商工振興事業費	細目コード	139
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1)	22,254人口(H24.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・補助金交付団体 5団体 →サマーフェスティバルinわかまつ →奈良尾夜市と花火 →ざあまによか夏上五島 →どてらい市 →ありかわ縁日	***** 補助金交付件数	***** 5件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	計画していたイベント実施団体全てに補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・各地区の実行委員会が開催するイベントに助成を行うことにより、イベント内容の充実を図り、地域の賑わいを創出し活性化を図りたい。（目標参加数；サマーフェスティバルinわかまつ 5,000人、奈良尾夜市と花火 3,000人、ざあまによか夏上五島 4,000人、どてらい市 800人、ありかわ縁日 2,500人 計15,300人）	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 集客数	***** 15,800人	***** 96.8%	***** 集客数÷ 目標参加者数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	集客数15,800名を目標としたが、500名減し15,300人となった			
		② (達成率分析)	***** 地域の賑わいの創出 - - - 平成24年度			
			各地区の実行委員会が開催するイベントに助成することにより、内容の充実や地域の賑わいの創出、地域活性化が図られる。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	32	32	32	5	5				
	②									
成果指標	① 人	15,800	15,300	16,000	15,800	15,300				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	46,268	45,948	40,818	5,450	5,130				
直接事業費 A	千円	40,668	40,348	35,918	4,750	4,430				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	13,900	13,600	9,200	4,700	4,400			
	その他	千円								
一般財源	千円	32,368	32,348	31,618	750	730				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	地域の活性化のため支援していく必要がある。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	イベントの開催により地域の繋がりが強固なものとなっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	新たな企画と共に、入念な準備と更なる広報活動を強化していく。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	交付要綱による補助である。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられ ない	理 由	事業費及び人件費は適切である。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	年度初めにグループの代表者が集い、効果的な運営を行うための会議を開催している。
	今後、課題に向けた改善策	観客を増やすことにより費用対効果をあげていく必要がある。

2 次 評 価	各団体の自主性を尊重し、地域の賑わいや活性化に向けた取組を支援することで協働のまちづくりを図っていくこと。また、実行委員会の独立を促しながら新たな方策に向けていくよう検討すること。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。